

## 第2期 活動報告

2003. 9. 27  
長野県和算研究会

### 1 平成13年4月27日 会報第8号発行

- 0 長野県和算研究会第2回総会のご案内
- 1 新作問題2問 (小林博隆)
- 2 私と算額④ (宮本由己雄)
- 3 源氏香① (大谷健二)

### 2 平成13年5月26日 長野県和算研究会第2回総会

11:00～15:00 場所: 松本美須々ヶ丘高等学校

総会次第 (進行: 大室 昂)

- 1 開会の挨拶 (副会長)
- 2 会長挨拶 : ①和算研究の客観的な評価について  
②和算コンクールの実施について
- 3 議事 (議長: 北原勲)
  - (1) 第1期事業報告 (幹事長)
  - (2) 第1期会計報告 (事務局)  
会計監査報告 (監事)
  - (3) 役員改選  
役員選出提案 (幹事より)  
役員紹介  
新会長挨拶
  - (4) 会則改正 (事務局)  
(ア) 会計年度の確認  
(イ) 旅費規程の追加
  - (5) 第2期事業計画 (幹事長)  
新会員名簿
- 4 昼食
- 5 研究発表
  - (1) 長野県の算額 野村恵智雄氏
  - (2) 和算家土屋修蔵の事績 北原 勲 氏
- 6 記念写真撮影
- 7 閉会の挨拶 (副会長)

(備考) 1 参加者: 会員11名、一般なし

2 報道機関: 松本市民タイムス

3 松本美須々ヶ丘高校放送部によるビデオ撮影がなされた

:

### 3 平成13年5月31日

第8回関東甲信越静和算研究大会案内状発送 (天野先生より事務局に一括送付)

場所: 神奈川藤野町、8/25～26

#### 4 平成13年6月 『増補 長野県の算額』の寄贈

赤羽千鶴先生より、7冊ご寄贈頂きました。

事務局として1冊を保存用とし、他の6冊をご希望の方々に郵送。

#### 5 平成13年7月2日

**長野県非現存算額集大成『幻の算額』（教育書館）発刊。** 自費出版200冊

著者は、中村信弥ほか6名（大谷健二、北原勲、小林博隆、関口哲男、田中秀明、野村恵智雄）。平成11年の『算額へも招待』と併せ、本書により長野県関係の奉納算額（現存・非現存）の現代解法による解明は終了しました。

#### 6 平成13年7月26日 会報第9号発刊

- 1 会員紹介（古澤英宣さん）
- 2 私と算額⑤（宮本由己雄）
- 3 第2回算額見学会のご案内
- 4 『算額への招待』の現代解法を検討する（小林博隆）
- 5 本の紹介『幻の算額』など

#### 7 平成13年8月2日 長野市民新聞にて『幻の算額』発刊の報道。

長野県内奉納非現存算額51面、長野県出身和算家及びその門弟が県外に奉納した算額17面、併せて68面の算額の問題を現代数学で解明し収録したもの。現存算額61面を扱った『算額への招待』に続く解法本。

#### 8 平成13年8月19日

『幻の算額』出版祝賀会。於 松本市仙岳

和算研究会顧問の赤羽千鶴先生をお迎えして、盛大に開催された

#### 9 平成13年9月8日 第2回算額見学会

10:00 飯山駅前集合、参加者4名 15:45 解散  
田上（長福寺）観音堂、鳥出神社、水穂神社、天然寺

#### 10 平成13年10月25日 会報第10号発刊

- 1 第2回算額見学会に参加して（小林博隆）
- 2 私と算額⑤（宮本由己雄）
- 3 私と算額①～⑥完結を感謝して（宮本由己雄）  
近畿和算ゼミナール報告集4より 下浦康邦氏追悼号
- 4 別云は過剰条件か～善光寺奉納算額における歎題批判から～（小林博隆）

#### 11 平成13年12月17日 長野ろう学校にて和算研究授業

授業者は、早川知之先生。先生は、高等部3年生を対象に、数学授業の一单元として「和算」を19時間設定し、その第17時間目が本研究授業として実施された。

本单元は、インターネットの利用・算額調査・和算関係ビデオの視聴・算木算盤の作成と利用・和算書の解読、等種々の教材を豊富に利用し、生徒たちの学習意欲を高め、

粘り強い取り組みを成さしめ、解ける喜びを感じさせるなど、斬新な取り組みを感じさせた。本研究結果が、公けにされていくことを切に望む。助言者として小林博隆参加。

## 12 平成14年2月17日 算額新発見

山崎実氏より宮本由己雄先生に連絡が入り、当日確認のため現地集合。詳細は会報11号をご覧ください。算題2問 奉納者：月岡湖梅、奉納年月日安政5年

## 13 平成14年4月26日 会報第11号発行

- 1 新しく発見された満昌院の『算額』
- 2 私と算額⑦（宮本由己雄）
- 3 月岡湖梅頌徳碑
- 4 満昌院の算額の現代的解法（伊藤栄一）
- 5 和算の愉しみー自己紹介にかえて（小寺裕）
- 6 中曽根宗口『信濃国善光寺算額写』について（中村信弥）

## 14 平成14年5月25日～26日 第3回算額見学会

場所：富山県新湊市を中心として、参加者9名

5/25 9：00頃 高速道路小布施SA集合

13：00～16：30 新湊市立博物館・高樹文庫・測量実習

16：30～17：00 算額見学（放生津八幡社：石黒信由奉納、高樹会復元）

5/26 氷見⇒高岡⇒小布施SA（17：00）解散

見学場所 万葉歴史館・瑞龍寺・高岡銅器展示館

## 15 平成14年7月26日 会報第12号発行

- 1 新湊市立博物館での測量実習  
和算家島田徳治氏（篠ノ井塩崎）の弟子の話（大室昂）
- 2 大久保家和算資料について（北原勲）
- 3 石黒信由のかん趁術（小林博隆、田中道彦）
- 4 平成14年度会費納入のご案内

## 16 平成14年12月26日 会報第13号発行

- 1 事務局よりお知らせ①新会員の紹介（田村博宣先生）  
②事務局保管図書の紹介『日本学士院所蔵 和算資料目録』
- 2 新刊書情報（和算の館より）
- 3 木島平村満昌院の算額から  
①新作問題（小林博隆）  
②現代の高校生に向けて（大谷健二）
- 4 不朽算法第十六の数理な～三斜整数術について～（小林博隆）
- 5 算額の紹介（高校生に向けて）（大谷健二）

## 17 平成15年3月1日 Japanese Temple Mathematical Problems in Nagano Pref.Japan （英語版算額への招待） 中村信弥ほか（教育書館）

和算は、江戸時代に我が国独自の数学として西洋数学に匹敵するレベルまで発展した。祖先が築いたこの輝かしい文化遺産を後世に伝えたい。そして世界に誇るべきこの文化遺産を地球上の多くの人に紹介したい。このような願いから、同じ志を持つ者が語り、本書を世界に紹介するため英訳して出版することにした。本書は『算額への招待』（1999年）の問題とその現代解を翻訳したものである（出版趣旨より）

## 18 平成15年3月25日 会報第14号発行

- 1 新会員（嶋田秀樹先生）（北原勲）  
②事務局保管図書の紹介『日本学士院所蔵 和算資料目録』
- 2 新刊本の紹介 **Japanese Temple Mathematical Problems**
- 3 『算法千里独行』における不朽算法第十六への批判（小林博隆）
- 4 和算家のモチベーション【暦と算】を高校生に（大谷健二）

### ● 長野県和算研究会会員による論文・図書の紹介（第2期分）

- 1 **Mathematical Problem 数学閑話** 小河原樞夫（非売品） 平成12年 12月
- 2 長野県非現存算額集大成『幻の算額』ほか（教育書館） 平成13年7月
- 3 和算に挑戦（改訂版） 長野南高校数学科（非売品） 平成13年10月
- 4 鬼無里の年中行事 鬼無里村教育委員会（北澤 和田正 他）
- 5 日本人の最古刊本数学書 割算書（復刻版） 中村信弥（自家本）平成14年12月
- 6 川中島マップの解説 ふるさと歴史探訪 大室昴ほか（龍鳳書房）平成14年12月  
川中島地区市制100周年記念事業
- 7 中国の数学通史 李迪 著/ 大竹茂雄・陸人瑞 共訳（森北出版）平成14年6月
- 8 和算における多乗根開方の研究（増補復刻版） 中村信弥（自家本）平成14年6月
- 9 和算史年表 佐藤健一、小寺裕、牧野（東洋書店）平成14年 月
- 11 **Japanese Temple Mathematical Problems in Nagano Pref. Japan**（英語版算額への招待）  
中村信弥ほか（教育書館）平成15年3月

### ● 長野県和算研究会所蔵の図書等の紹介（第2期分）

- 1 和算図書集成 岩波書店 平成14年11月購入
- 2 『伊那』2003. 4/5月号
- ◆ 第8回関東甲信越静和算研究大会 神奈川大会 収録VTR全3巻
- ◆ 第2回長野県和算研究会総会 収録VTR全1巻
- ◆ 第62面目の算額（木島平村、往郷）新発見 収録VTR全1巻
- ◆ 越中人譚（5月・石黒信由）チューリップテレビ放映 収録VTR全1巻